

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第10回 海外医療機器の最新動向勉強会

2019年6月5日（水）、国立国際医療研究センター大会議室にて、MINCの会「第10回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院/関係者、企業、医工連携関係者、60名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。

<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>



■ 第10回について

- 国立国際医療研究センター（NCGM）を代表して、井上 肇 企画戦略局長から開会のご挨拶をいただきました。
- 医工連携に関わる行政・公的機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、厚生労働省 医療機器審査管理課、東京都産業労働局、製品評価技術基盤機構、日本医療機器産業連合会からご参加をいただきました。
- 勉強会のディスカッションでは、国立国際医療研究センター（NCGM）副院長・医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）の望月 修一 先生と特許庁 審査第二部医療機器（治療機器）の栗山 卓也様のお二人をコメンテーターとしてお迎えし、議論をおこないました。
- 記事については、山本 裕香先生（眼科）、柳澤 俊介 先生（脳神経外科）、霜田 雅之 先生（睥島移植プロジェクト）、長阪 智先生（呼吸器外科）に講師としてご参加いただき、専門医のお立場から症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただき、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。



📝 参加者からの声

- ✓ 臨床の先生のご意見、知見の要不要についての見解など大変貴重な情報を得ることができました。
- ✓ いずれも興味深いテーマであり、先生がたの背景説明もわかりやすく、とても勉強になった。PMDAや特許に関する見解もとても良いです。

ディスカッション記事

【眼科】Implandata 社の脈絡膜上腔に留置する眼圧センサー「EYEMATE-SC」
【脳神経外科】CarThera 社の血液脳関門を開く超音波デバイス「SonoCloud」
【糖尿病治療（人工膵臓）】植込みバッグ型のバイオ人工膵臓を開発する ViaCyte 社
【呼吸器】オリンパスが肺気腫治療用気管支バルブ「Spiration」の米国承認を取得
記事紹介
CorMatrix 社の ECM でできた人工三尖弁「Cor TRICUSPID ECM」
ストライカー、慢性鼻炎治療デバイスを開発する Arrinex 社を買収

◇ 事務局より御礼

令和元年の初めての勉強会に多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございます。今年度は3ヶ月に1回の開催となります。次回の第11回は、2019年9月4日（水）18時より、国立国際医療研究センター 大会議室にて開催いたします。